

名古屋城

緊急提言

本丸御殿の 工事凍結を！

今、やるべきことか？本丸御殿の工事

大変な不況です。これまで、元気な名古屋を支えてきた多くの働く人たちが、住む場所さえない状態におかれています。ところが、名古屋市の緊急宿泊所の予算はわずかに630万円、既に底をついています。この他に生活保護扶助経費も必要です。こんな状態で、まだ、名古屋市は「元気な名古屋」の象徴として名古屋城本丸御殿復元工事に100億円もの税金を使おうとしています。しかし本当に深刻な不況の今、本丸御殿の工事は必要なのでしょうか。

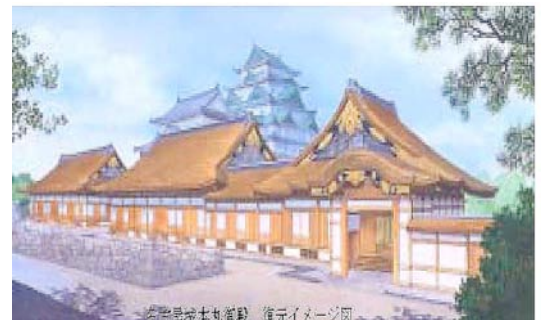
工事を凍結することは可能だ

本丸御殿の工事は平成29年度までの予定です。この間、名古屋市は毎年工事費用を支払うこととされていますが、契約書では、名古屋市に予算の都合等がある場合には、工事を一旦ストップすることもできると記載されています。工事を凍結することは契約上も可能です。

元気な名古屋を支えてきた 働く者や市民にこそ税金を

税金を、元気な名古屋を支えてきた働く者や市民に使うべきです。どうしても、本丸御殿を作りたい、というのなら、税収が豊かになってから作ればよい。本丸御殿が、名古屋市が言うような文化的な価値のあるものなら、完成が遅れても問題はないはずです。未完成のまま、世界遺産になった建物もありますから。

今は本丸御殿をつくる余裕は誰の目から見てもないはずです。まずは市民のために税金を使うよう皆で名古屋市に意見を届けましょう。



↑名古屋城本丸御殿 復元イメージ図

名古屋市民オンブズマン 代表 税理士倉橋克実

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-41 リブビル6階

TEL 052-953-8052 FAX052-953-8050

<http://www.omnagoya.gr.jp/> office@ombudsman.jp

名古屋市民オンブズマンは、市民のカンパで支えられています。